

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2025-001
2.研究課題名	外国語でのコミュニケーションにおける不安に関する研究
3.研究期間	令和7年 5 月（倫理委員会承認後）～ 令和 10 年 3 月 31 日
4.研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての確に記すこと。） 外国語学習者の外国語を使用する際に感じる不安がコミュニケーションの質に影響を与えることが知られている（Ma, 2022）。その要因として、外国語の流暢性に対する意識、会話相手の態度、外国語を使用した経験や頻度などが報告されている（Lindberg et al., 2023）。また、近年の研究では外国語学習への AI の活用が注目されているが、AI との外国語での会話において、どのような要因が不安の変化に寄与するかについては十分に検討されていない。さらに、これまでの研究の多くは質問紙による主観的な測定に依存しており、生理学的指標などの客観的測定を用いた研究は限られている。 本研究では、外国語として英語を学習している日本語を母語とする学習者が、人間または AI を会話相手とした際に感じる言語使用不安を、質問紙による行動学的測定と皮膚電位測定の両面から検討する。また、不安の程度が学習者の英語の流暢性や会話相手の態度に対する意識、言語的・社会的な個人特性とどのように関連するかについて分析し、人間と AI それぞれの会話相手としての役割の違いを探究する。 方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 18 歳以上の男性・女性それぞれ 30 名程度、計 60 名程度を募集する。日本語を母語とし、外国語として英語を学習した経験のある者に限定する。参加者は、人間または AI チャットボットを相手に 10 分間の英語による会話を行う。会話中には電気皮膚活動を測定し、終了直後に会話に対する評価を行う。その後、学習者の社会的ネットワーク、特性不安、個人の言語的背景に関する質問紙調査を実施する。 問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院教育学研究科 教育情報アセスメント講座 コミュニケーションサイエンス研究室 022-795-6143

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）